

2022.11.10

防 災 講 話

副校長 森元隆之

全校のみなさん、安全教育担当の先生から「いつでも身近に大人がいるわけではない。」というお話がありましたが、登校途中に災害が発生し、もし近くに知っている大人がいてくれたら、より多くの命を助けられるかもしれない……。今私はそんなことを考えていました。

さて、みなさんは「顔見知り」という言葉を聞いたことがあると思います。毎日同じ時刻の電車で通勤するとき、必ず見かける大人を私たちは「顔見知り」とは言いません。話を交わすような間柄ではないが、その人の存在を知っている関係（例：何丁目の〇〇さんのお子さん）を言います。災害時はこの「顔見知り」の間柄が力を発揮し、避難所などでも生かされるのです。

みなさんは地域の大人たちに支えられています。こちらからの働きかけで「顔見知り」を増やし、自分の住む町の少しでも多くの命が救えるように、心がけも環境づくりもしていきましょう。それも「防災」の一つです。